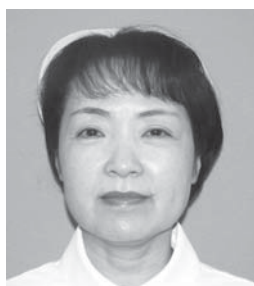


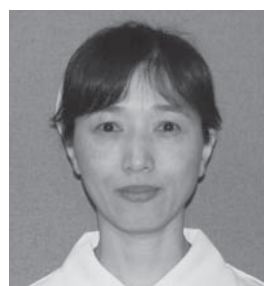
京都看護助産学校



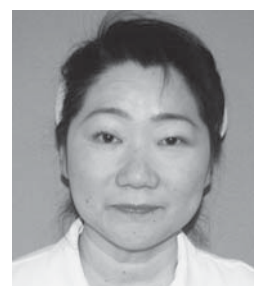
副学校長
山本 薫里



助産師科 教育主事
渡邊 玲子



看護師科 教育主事
野々川 陽子



看護師科 教育主事
岡村 稔子

I 看護学校の概要

1. 名称

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター附属京都看護助産学校

2. 所在地

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1 の 1

TEL (075) 641-9191 (直通) HP <http://www.hosp.go.jp/-kyotolan/>

3. 沿革

昭和24年 4月 1日 国立京都病院附属高等看護学院として開設

1 学年定員30名 総定員90名

昭和43年 4月 1日 1 学年定員50名 総定員150名

昭和44年 4月 1日 助産婦科の附設 1 学年定員35名 総定員35名

国立京都病院附属高等看護助産学院に名称変更

昭和50年 4月 1日 国立京都病院附属看護助産学校に名称変更

昭和51年 4月 1日 専修学校(専門課程)に認定

平成16年 4月 1日 国立療養所宇多野病院附属看護学校(3年課程)と国立療養所南京都

病院附属看護学校(2年課程)と3校が統合、大型校となり独立行政

法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校に名称変更

看護師科 1 学年定員80名 総定員240名

助産師科 1 学年定員35名 総定員 35名

卒業生数(平成26年 3月31日現在)

看護師科(1 回生～53回生)… 1,968名

(1 回生～10回生)… 749名(統合後)

助産師科(1 回生～45回生)… 1,327名

4. 課程・定員

課程	学科	入学定員	総定員	在籍者数（平成 26年3月1日現在）			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門課程	看護師科 (3年課程)	80人	240人	78人	75人	80人	233人
看護専門課程	助産師科	35人	35人	24人	/	/	24人
計		115人	275人	102人	75人	80人	257人

II 教育理念・目的

1. 教育理念

本校は、国立病院機構附属の養成所であり、国立病院機構の病院が担っている役割や機能を理解し、将来の国立病院機構の医療をリードしていく看護実践力をもつ看護師を育成することを責務としている。

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、感じる心・考える力・主体的に行動する学生の育成を目指している。感じる心とは、人間に関心をもつことができ、生命の大切さや多様な価値観を感性豊かに感じとり物事の変化に気づくこと、考える力とは、状況の意味を自ら考え、専門的知識を活用して分析・判断する力のこと、主体的に行動するとは、感じ考えたことを自らすすんで表現し行動に繋げることができ責任がとれること、自己の目標達成に向けて卒業後も継続的に学習することを言う。

人間は、自己実現を目指し変化しようとしている存在であるが、現代の若者は生活体験が乏しいことから事象をイメージしにくく想像力・理解力が未熟な傾向にあるため、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得にあたり、体験的・実践的学習をとりいれわかりやすい授業を実践する。また、臨地実習での学びを充実させるために学びやすい環境づくりに力を入れる。さらに、医療・看護の動向をふまえ、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

2. 教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

3. 教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う。
2. 看護の対象である人間を総合的に理解する能力を養う。
3. 科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
4. 人々の多様な価値観を認識し、専門職業人として共感的態度及び倫理に基づいた看護を 実践できる基礎的能力を養う。
5. 人々の最適な健康状態を目指し、生活を支援できる看護実践の基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉の連携の中で調整的役割を果たす基礎的能力を養う。
7. 国際化・情報化時代に対応できる基礎的能力を養う。
8. 専門職業人としての自覚と責任をもち、主体的に看護を向上発展させていく姿勢を養う。

コンセプト

感じる心 考える力 そして・・・行動を

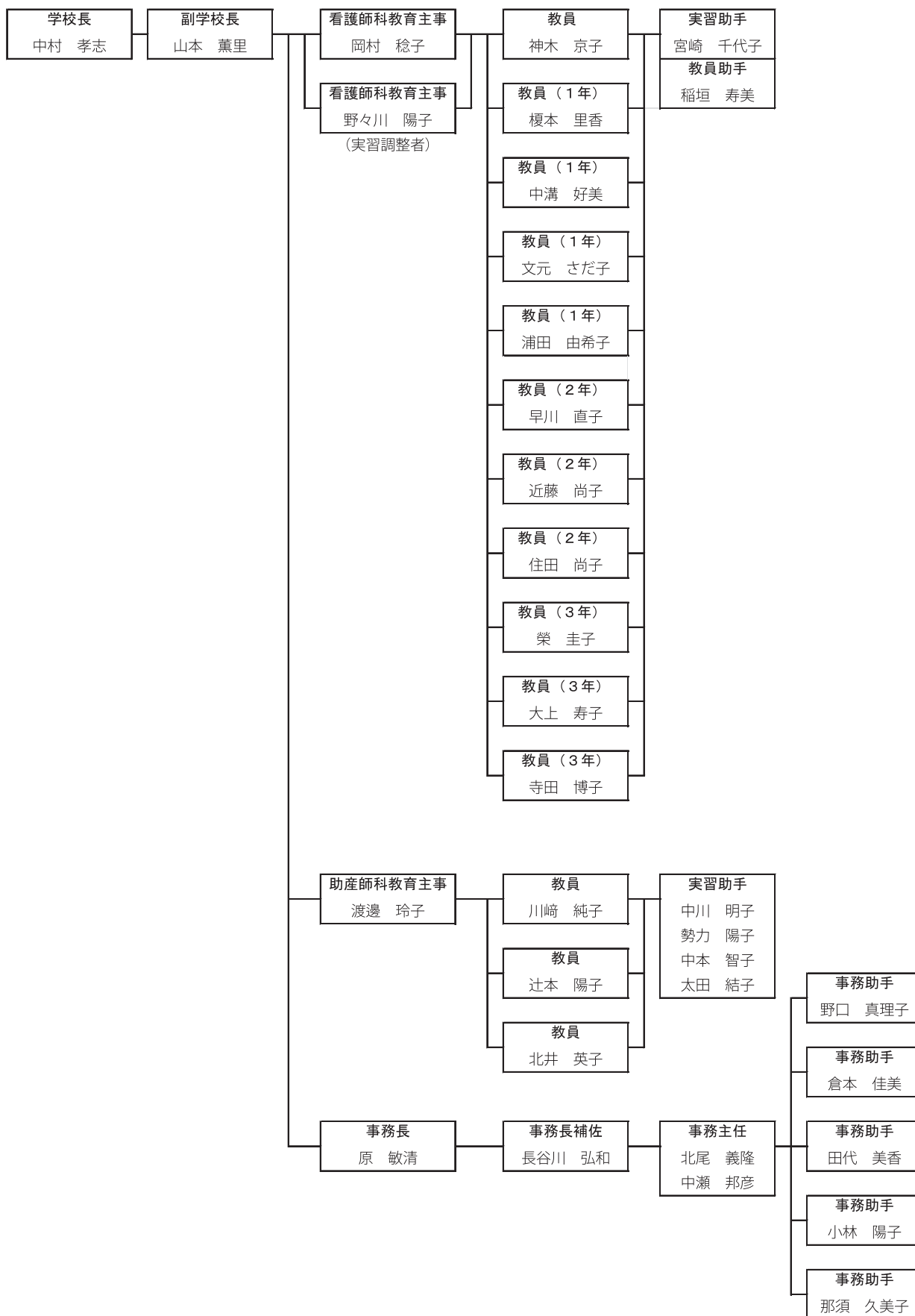
4. 平成25年度 部門(看護学校)目標

部門目標		看護師科
1	教職員の資質向上と学校課題解決に向けた工夫・改善を図り、組織的な教育活動の実践に努める。	○ カリキュラムの円滑な運営・実施
		○ カリキュラムの改善・充実を図る
		○ チームとしての業務遂行（連携・調整の強化）
		○ 臨床との連携による看護技術教育の充実
		○ 授業研究活動の活発化（教員最低1回）による授業力アップ
		○ 研修、学会等の参加や文献等に目を向け自己啓発を図る。
		○ 自己の研究テーマを持ち、研究に取り組む。
2	選ばれる学校を目指す	○ 広報活動の強化（HPの充実 リアルタイムな情報提供）
		○ 地域（地元高校）・看護協会等との積極的交流や連携強化
		○ 病院・地域と連携した公開講座の企画・運営
		○ 公開講座の充実（参加者数の増加）
3	学生が自ら学び自ら問題を解決していく意志と態度や、つねに探求する姿勢を養う。 《感じ、考え、行動する》	○ 少人数制の授業・演習形態やグループワークの活用
		○ 「自分で創る学校生活」を意識させ、学生主体で企画・運営する機会を設ける
		○ 自治会活動・クラブ活動への支援
		○ ボランティア活動等の推奨
4	学生理解を土台にした相談活動の充実を図る	○ 学生相談室活用への支援強化
		○ 教員間での学生情報の共有
		○ きめ細やかな指導、タイムリーな指導
		○ 学生のペースに合わせた指導
5	学校評価の充実と、学校の透明性を推進する	○ 自己点検・自己評価及び第三者評価の実施と公表
		○ 学生による授業評価の実施と講師へのフィードバック
		○ 卒業時カリキュラム評価の目標平均値2.8以上

部門目標		助産師科
1	教職員の資質向上と学校課題解決に向けた工夫・改善を図り、組織的な教育活動の実践に努める。	1) カリキュラムの円滑な運営・実施
		2) カリキュラムの改善・充実を図る
		3) 教員会議による教員間の連携・調整の強化
		4) 臨床との連携による看護技術教育の充実
		5) 授業研究活動の活発化(教員最低1回)による授業力アップ
		6) 研修、学会等の参加や文献等に目を向け自己啓発を図る(1人2回以上の専門学会参加)
		7) 自己の研究テーマを持ち、研究に取り組む。
2	選ばれる学校を目指す	1) 広報活動の強化(HPの充実 リアルタイムな情報提供)
		2) 地域(児童館、保健センター、助産院)・助産師科会等との積極的交流や連携強化
		3) 公開講座の充実(参加者数の増加)
		4) 地域のニーズに対応した学校運営の検討(学生定員数の検討)
3	学生が自ら学び自ら問題を解決していく意志と態度や、つねに探求する姿勢を養う。 《感じ、考え、行動する》	1) 少人数制の授業・演習形態やグループワークの活用
		2) 性教育講座・両親学級の企画・運営
		3) 地域との連携と支援(児童館・保健センター)
		4) 病院・地域と連携した性教育講座・両親学級の企画・運営
		5) ボランティア活動等の推奨(保健センター・助産院等)
4	学生理解を土台にした相談活動の充実を図る	1) 学生相談室活用への支援強化
		2) 教員間での学生情報の共有
		3) きめ細やかな指導、タイムリーな指導
		4) 学生の学習進度に応じた指導
5	学校評価の充実と、学校の透明性を推進する	1) 自己点検・自己評価及び第三者評価の実施と公表
		2) 学生による授業評価の実施と講師へのフィードバック
		3) 卒業時カリキュラム評価の目標平均値2.8以上

III. 本学の組織

1. 組織図



2. 教育経験年数

	教員の種別	教育年数	専門領域
	副学校長（山本 薫里）	18年	基礎看護学
看護 師 科	教育主事（岡村 稔子）	12年	基礎看護学
	教育主事（野々川 陽子）	9年	成人看護学
	教員（近藤 尚子）	19年	基礎看護学
	教員（榮 圭子）	13年	精神看護学
	教員（神木 京子）	7年	成人看護学
	教員（早川 直子）	7年	成人看護学
	教員（文元さだ子）	7年	成人看護学
	教員（中溝 好美）	5年	老年看護学
	教員（浦田由希子）	5年	小児看護学
	教員（榎本 里香）	3年	成人看護学
	教員（住田 尚子）	3年	成人看護学
	教員（大上 寿子）	2年	成人看護学
	教員（寺田 博子）	2年	成人看護学
	実習助手（宮崎 千代子）		母性看護学
	教員助手（稲垣 寿美）		
助 産 師 科	教育主事（渡邊 玲子）	助11年	助産学・母性看護学
	教員（川崎 純子）	看5年・助5年	助産学・母性看護学
	教員（辻本 陽子）	助3年	助産学
	教員（北井 英子）	助1年	助産学
	実習助手（中川 明子） （勢力 陽子） （中本 智子）		

3. 職員・講師数

教職員に関する事項	教員の種別	専任	兼任		職員の種別	専任	兼任
			(看)	(助)			
	保健師	0名	0名	1名	事務職員	3名	3名
	助産師	4名	4名	9名	その他の職員	0名	0名
	看護師	13名	34名	2名	合計	3名	3名
	医師 (歯科医師含む)	0名	38名	16名			
	その他の教員	0名	26名	6名			
	合計	17名	102名	34名			

IV. 学生募集

1. 入学試験実施状況

<看護師科>

	一次試験	二次試験	合格発表
一般入学試験	平成26年 1月23日 (木)	平成26年 1月25日 (土)	平成26年 1月30日 (木)
社会人入学試験	平成25年11月14日 (木)	平成25年11月16日 (土)	平成25年11月21日 (木)
推薦入学試験	平成25年11月16日 (土)		平成25年11月21日 (木)

<助産師科>

	一次試験	二次試験	合格発表
一般入学試験	平成26年 1月23日 (木)	平成26年 1月25日 (土)	平成26年 1月30日 (木)
特別選抜入学試験	平成25年11月14日 (木)		平成25年11月21日 (木)

2. 入学試験実施状況

<看護師科>

年度 (回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成 21 年 (第 8 回生)	社会人	66	63	42	39		
	一般	137	127	53	41		
	合計	203	190	95	80	4	74
平成 22 年 (第 9 回生)	社会人	109	101	43	39		
	一般	156	147	56	42		
	合計	265	248	99	81	7	75
平成 23 年 (第 10 回生)	社会人	108	100	44	39		
	一般	177	172	61	43		
	合計	285	278	105	82	1	80
平成 24 年 (第 11 回生) 在学中	社会人	108	100	46	42		
	一般	134	130	59	37		
	合計	242	230	105	79	1	
平成 25 年 (第 12 回生) 在学中	推薦	8	8	8	8		
	社会人	89	83	38	36		
	一般	158	149	61	34		
	合計	255	240	108	78	1	
平均		250	237	102	80	2.8	

<助産師科>

年度 (回生)	試験	応募 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	退学 者数	卒業 者数
平成 23 年 (第 43 回生)	特別選抜 (学校)	16	16	16	16		
	特別選抜 (施設)	5	5	5	5		
	一般	108	106	17	14		
	合計	129	127	38	35	1	34
平成 24 年 (第 44 回生)	特別選抜 (学校)	11	11	11	11		
	特別選抜 (施設)	2	2	2	1		
	一般	89	87	23	8		
	合計	102	100	36	30	1	29
平成 25 年 (第 45 回生)	特別選抜 (学校)	9	9	9	9		
	特別選抜 (施設)	3	3	3	3		
	一般	72	54	18	15		
	合計	84	66	30	27	3	24
平均		105	98	35	31	1.6	

3. オープンキャンパスの実施

<看護師科>

	日 程	内 容 / 参加人数		
1	平成 25 年 5 月 2 日 (木)	看護の記念行事として卒業高校の訪問(17施設)		
2	平成 25 年 6 月 29 日 (水)	高校の進路指導部の教員対象の説明会	6 人	
3	平成 25 年 7 月 28 日 (日)	学校の概要説明、校舎内見学 学校生活紹介、学生メッセージ 入試概要説明 質疑・応答、個別相談	54 人	
4	平成 25 年 7 月 29 日 (月)		32 人	
5	平成 25 年 7 月 30 日 (火)		41 人	
6	平成 25 年 8 月 17 日 (土)		70 人	
7	平成 25 年 8 月 18 日 (日)		57 人	
8	平成 25 年 8 月 24 日 (土)		25 人	
9	平成 25 年 9 月 28 日 (土)		32 人	
10	平成 25 年 10 月 19 日 (土)		学校説明会・公開講座	39 人
11	平成 26 年 3 月 25 日 (火)		学校説明会	20 人
		合計	376 人	

<助産師科>

	日 程	内 容 / 参加人数	
1	平成 25 年 6 月 22 日 (土)	学校の概要説明、校舎内見学	23 人
2	平成 25 年 7 月 20 日 (土)	学校生活紹介、学生メッセージ	32 人
3	平成 25 年 8 月 17 日 (土)	入試概要説明	54 人
4	平成 25 年 8 月 30 日 (土)	質疑・応答	
		合計	145 人

V. 学生生活

1. 心身の健康保持・増進

1) カウンセリング

カウンセラーによるカウンセリングを週1回(放課後)に実施している。

2) 健康診断

健康管理規定に基づき、定期的実施している。

項目	対象	4月	7月	10月	1月
1. 身体測定	全学生	○	○	○	○
2. 胸部X線撮影	全学生	○			
3. 血圧測定	全学生	○		○	
4. 検尿 (糖、蛋白、潜血、ウビリノゲン)	全学生	○		○	
5. 内科総合診断	全学生	○		○	
6. 採血 (梅毒反応、HB、HCV、麻疹、風疹 水痘、ムンプス抗体検査)	新入生	○			
7. ツベルクリン反応検査	新入生(2,3年生 の陰性者)	○			
*検便は実習前に実施					

2. 課外活動 : 看護師科

1) 自治会活動

	< 前期 >		< 後期 >
5月	自治会総会	11月	自治会総会
6月		12月	大掃除
7月	大掃除	1月	新春コンサートへの参加
8月		2月	国家試験激励会、予選会
9月		3月	
10月	戴帽式のお祝い 自治会総括 後期自治会選挙	4月	新入生歓迎会 自治会総括 前期自治会選挙

2) クラブ活動

(1) バレーボール部

毎週 火・水・木・金 曜日 16:30~18:00 体育館

あじさい杯 平成25年7月20日(土) 開催

*京都看護助産学校主催で近畿ブロック附属看護学校5校のバレーボール部が集まる大会。毎年開催している。

(2) 茶道部

隔週 木 曜日 16:30~18:30 在宅看護実習室

七夕茶会 平成25年7月18日(木) 開催

初釜茶会 平成26年1月17日(金) 開催

(3) 園芸部

不定期開催

患者さんたちに季節の花を見てもらえるよう、草花を植えて手入れをしている。

(4) 合唱サークル

不定期開催

みんなで楽しむとともに、病院コンサートや実習でのレクリエーションで患者さんに喜んでもらえるよう、練習している。

(5) アロマサークル

不定期開催

ハンドマッサージやアロマスプレーを作るなど、みんなで楽しむとともに、看護に活かせるよう練習している。

(6) バドミントンサークル

月曜日(不定期開催)

身体を動かし、リフレッシュしている。

3) ボランティア活動

	実施時期	学年	実施内容
1	平成25年5月2日	学生全員	看護の日記念行事コンサート・カードの配布(京都医療センター)
2	平成25年7月26日	1年生	サマーコンサート(京都医療センター)
3	平成25年11月	学生有志	引越しボランティア(宇多野病院)
4	平成25年12月20日	1年生	クリスマスコンサート
5	平成26年2月28日	3年生	病院清掃ボランティア

VI. 卒業生の進路

1. 就職・進学状況

<看護師科>

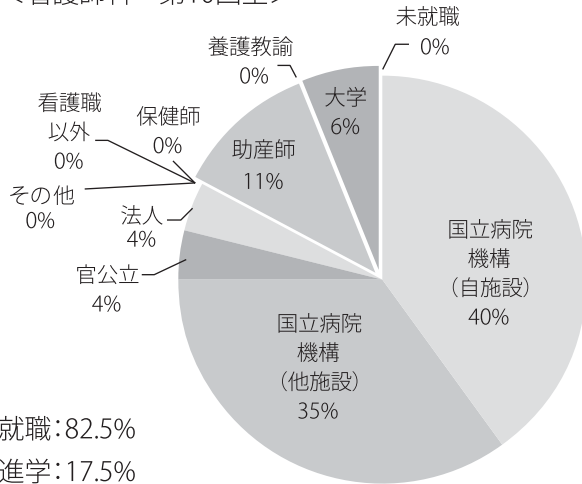
年月	回生	卒業 者数 (人)	就 職 (人)						進 学 (人)				未 就 職
			国立病院機構		官 公 立	法 人	そ の 他	看 護 職 以 外	保 健 師	助 産 師	養 護 教 諭	大 学	
			自施設	他施設									
平成 24年 3月	第8回生	75	35	20	2	3	1	0	0	11	0	2	1
平成 25年 3月	第9回生	75	35	21	1	2	2	0	0	7	0	6	0
平成 26年 3月	第10回生	80	32	28	3	3	0	0	0	9	0	5	0
平 均			34	23	2	2.7	1	0	0	9	0	4.3	0.3

<助産師科>

年月	回生	卒業 者数 (人)	就 職 (人)						進学	未 就 職
			国立病院機構		官 公 立	法 人	そ の 他	看護職 以外		
			自施設	他施設						
平成24年3月	第43回生	34	6	16	6	2	2	0	0	0
平成25年3月	第44回生	29	5	10	9	2	3	0	0	0
平成26年3月	第45回生	24	6	10	6	2	0	0	0	0
平 均			5.7	12	7	2	1.7	0	0	0

平成25年3月 進路状況

<看護師科 第10回生>

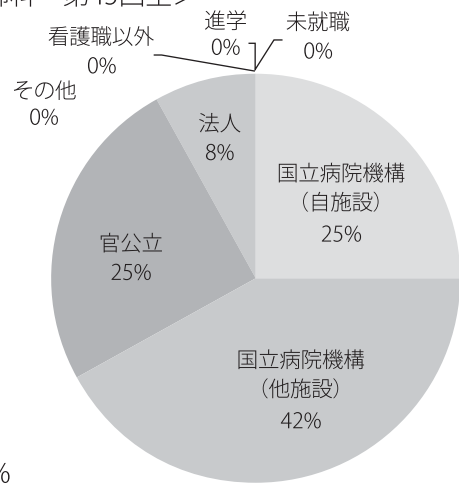


就職:82.5%

進学:17.5%

就職者の中の機構就職率:90.9%

<助産師科 第45回生>



就職:100%

就職者の中の機構就職率:60%

2. 国家試験

<看護師科>

		全国 (%)	機構附属 (%)		
			全国	近畿	京都
102回 (H25.3)	全体 (新卒)	88.8 (94.1)	97.3 (97.7)	99.1	100
103回 (H26.3)	全体 (新卒)	89.8 (95.2)	98.2 (98.9)	98.9	100

<助産師科>

		全国 (%)	機構附属 (%)	
			全国	京都
96回 (H25.3)	全体 (新卒)	98.1 (98.9)	100	100
97回 (H26.3)	全体 (新卒)	96.9 (97.6)	100	100

VII. 教員の研究および研修参加

1. 研究活動

<教員研修会 研究グループ>

	テーマ	教員
1G	実習指導者の育成 ～第2報 実習指導者研修プログラムの実施と修正～	北井 英子・寺田 博子
2G	教員間の授業研究のあり方の検討	近藤 尚子
3G	質の高い看護学生の確保	川崎 純子・浦田 由希子
4G	教員を続けたい職場環境について考える	早川 直子・文元 さだ子
5G	統合する力を育成する演習の評価	住田 尚子・辻本 陽子
6G	2年実施した統合実習の現状把握	大上 寿子・榮 圭子
7G	学生の思考力を高める授業の検討～症状別看護を通して～	中溝 好美・神木 京子

<授業研究>

日程	授業内容	教員
平成 25 年 7 月 24 日 (水)	(授業公開) 基礎看護技術Ⅰ バイタルサイン測定 (演習)	住田 直子
平成 25 年 9 月 18 日 (水)	(授業公開) 基礎看護技術Ⅵ 筋肉注射 (講義)	中溝 好美
平成 25 年 10 月 15 日 (火)	1・2 年目教員の育成 (授業見学) 日常生活援助基礎技術 清潔を助ける技術演習 (足浴)	北井 英子
平成 25 年 10 月 18 日 (金)	(授業公開) 基礎看護技術Ⅴ 呼吸を整える援助 (講義)	中溝 好美
平成 25 年 11 月 21 日 (木)	(授業公開) 看護過程展開技術 (講義) ～分析的アセスメント ワーク～	神木 京子
平成 25 年 11 月 25 日 (月)	(授業公開) 成人看護援助技術Ⅰ (講義) 経過別看護 (慢性期・リハビリ期)	神木 京子
平成 25 年 12 月 11 日 (水)	(授業公開) 老年看護援助技術 (講義) 高齢者の食生活のアセスメントと看護ケア	榎本 里香
平成 26 年 1 月 31 日 (金)	(授業公開) 看護過程展開技術 (講義) ～関連図 ワーク～	神木 京子
平成 26 年 1 月 31 日 (金)	(授業見学:大阪南医療センター) 基礎看護技術 静脈注射 (演習)	中溝 好美
平成 26 年 2 月 17 日 (月)	(授業見学:姫路医療センター) 老年看護 高齢者への排泄援助 (講義)	榎本 里香
平成 26 年 2 月 27 日 (木)	(授業見学:姫路医療センター) 老年看護 高齢者の清潔援助	近藤 尚子

2. 研修参加状況

日程	主催	研修内容	参加人数
平成 25 年 5 月 20 日 ～24 日	国立病院機構本部	幹部看護師管理研修Ⅲ	1 人
平成 25 年 7 月 6 日 ～26 日	国立病院機構本部	幹部看護師管理研修Ⅰ	1 人
平成 25 年 8 月 1 日	副学校長・教育主事・教員 夏期合同研修会	「育てる」から「育ち」へ ～学び続けるひとをめざし て～	17 人
平成 25 年 8 月 2 日	近畿ブロック	3 年目以上教員研修	12 人
平成 26 年 1 月 23 日	近畿ブロック	医療安全管理研修	1 人
平成 26 年 2 月 22 日	京都府看護協会	平成 24 年度継続研修修了者 ブラッシュアップセミナー	1 人

VIII. 社会への貢献

1. 公開講座

	日程	テーマ	参加者数
看護師科	平成 25 年 7 月 24 日 (水)	基礎看護技術「バイタルサイン測定」の実際	27 人
	平成 25 年 7 月 30 日 (火)	看護学生体験：BLS 体験・血圧測定体験	36 人
	平成 25 年 8 月 17 日 (土)	看護学生体験： BLS 体験・血圧測定体験	40 人
	平成 25 年 8 月 18 日 (日)	看護学生体験： BLS 体験・血圧測定体験	39 人
	平成 25 年 8 月 24 日 (土)	ミニ講義：環境について	20 人
	平成 25 年 9 月 28 日 (土)	ミニ講義：環境について	27 人
	平成 25 年 10 月 19 日 (土)	大切な人が倒れたらあなたは何かができますか？ ～みんなで楽しく学ぶ救命処置と応急処置～	12 人
	平成 25 年 11 月 23 日 (土)	ホームカミングデイ 「ツボでリフレッシュ！」 ～自分を癒す技を身につけよう～	23 人
		合計	264 人

2. ガイダンス

日程	研修内容	教員
平成 26 年 5 月 30 日	京都府立城南菱創高校 高校内ガイダンス（1年職業理解）	山本 薫里
平成 26 年 8 月 2 日	京都予備校 受験ガイダンス	山本 薫里
平成 26 年 10 月 10 日	京都精華女子高校 高校内ガイダンス（職業理解）	山本 薫里

3. 教員の講習会、研修等の講師

日程	研修内容	教員
平成 25 年 6 月～7 月	平成 25 年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 講義講師	山本 薫里 岡村 稔子 川崎 純子
	平成 25 年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導案助言講師	早川 直子 文元 さだ子
平成 25 年 11 月 27 日 12 月 18 日 平成 26 年 1 月 29 日	京都医療センター附属 京都看護助産学校 実習指導者研修プログラム （第 1 回～第 3 回）	山本 薫里 岡村 稔子 野々川 陽子 近藤 尚子 榮 圭子 早川 直子 文元 さだ子 大上 寿子 寺田 博子
平成 26 年 1 月 10 日	南和歌山医療センター 「実習指導者定例会」 ～実習目標を達成できる実習指導の工夫～	山本 薫里
平成 26 年 1 月 10 日	南和歌山医療センター ～効果的な学生の指導方法～ 対象：一般看護師	山本 薫里

4. 研修受け入れ

日程	研修内容	受け入れ数
平成 25 年 11 月 25 日～27 日	教員インターンシップ 近畿ブロック副学校長教育主 事協議会主催	1 人

IX. 施設と設備

1. 建物の概要

	区 分	建築年数	構造・階	面積 (㎡)	摘 要
看護師科	校 舎	平成16年	RC4階	延: 3037㎡ 建: 1002㎡	
助産師科	校 舎	昭和54年	RC2階	延: 850㎡ 建: 469㎡	
	寄宿舍		RC5階	延: 540㎡ 建: 111㎡	
共通	図書棟	平成16年	RC2階	延: 704㎡ 建: 421㎡	
	体育館	平成3年	RC2階	延: 664㎡ 建: 600㎡	

2. 図書・ビデオ保有数

<図書>

(平成26年3月31日現在)

	基礎科目	専門基礎科目	専門分野	その他	雑誌	合計
看護師科	3,389	2,557	8,603	34	22種	14,583
助産師科	548	973	2,026	8	25種	3,573

<ビデオ>

(平成26年3月31日現在)

	基礎科目	専門基礎科目	専門分野	その他	合 計
看護師科	28	139	778	0	945
助産師科	0	74	240	0	314

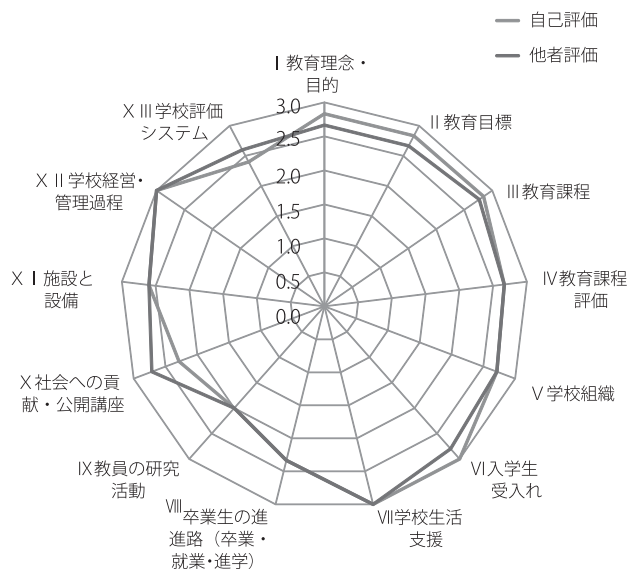
X. 会議一覧

月	平成 25 年度 開催状況
4 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(6回/月)
5 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)
6 月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
7 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)
8 月	教員会議(8回/月)
9 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
10 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)
11 月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月) 入試委員会(社会人入試・特別選抜入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
12 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
1 月	運営会議 教員会議(4回/月) 入試委員会(一般入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
2 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
3 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)

XI. 平成25年度 看護師養成所自己点検・自己評価結果

<看護師科>

No	評価項目	自己評価	他者評価
I	教育理念・目的	2.8	2.7
II	教育目標	2.8	2.7
III	教育課程	2.8	2.8
IV	教育課程評価	2.7	2.7
V	学校組織	2.7	2.7
VI	入学生の受け入れ	3.0	2.8
VII	学校生活支援	3.0	3.0
VIII	卒業生の進路	2.3	2.3
IX	教員の研究活動	2.0	2.0
X	社会への貢献・公開講座	2.3	2.7
XI	施設と設備	2.6	2.6
XII	学校経営・管理過程	3.0	3.0
XIII	学校評価システム	2.4	2.6
全体の平均		2.7	2.7



<助産師科>

No	評価項目	自己評価	他者評価
I	教育理念・目的	2.8	2.8
II	教育目標	2.8	2.8
III	教育課程	2.9	2.9
IV	教育課程評価	3.0	3.0
V	学校組織	3.0	2.9
VI	入学生の受け入れ	3.0	2.8
VII	学校生活支援	2.9	3.0
VIII	卒業生の進路	2.7	2.7
IX	教員の研究活動	2.5	2.5
X	社会への貢献・公開講座	2.6	2.6
XI	施設と設備	3.0	2.7
XII	学校経営・管理過程	3.0	2.9
XIII	学校評価システム	2.6	3.0
全体の平均		2.8	2.8

